

## <喫煙室>

<17頁より続く>

わかりません。ただ、この統計課勤務という時期がその答えを出す時になるかもしれないと思う、このごろです。



### 雑 感

人口労働担当主事  
住 谷 紀 男

私が趣味として地形図の収集を始めたのは、大学に入ったばかりの頃だったように思う。同じ地図でも世界地図などは学校の授業で慣れ親しんでいる。しかし、身近な山や川、都市等の詳細については、ほとんど知らずにいた訳である。その点、地形図を見れば身近な場所はもちろん、まだ知らない土地の状況まで知ることができる。この道はどこまで続いているのか？田畑は多いか？密集地はあるか？など、地形図なら一目瞭然である。そして面白いことに、既に知っている土地、あるいは道であっても、改めて地形図で確かめると新しい発見をすることが多い。

しかし、どんなものでも相応の役割があり、地形図もその例外ではない。例えば、登山をする際には、地形図は恐らく最良のガイドとなってくれるだろう。ところが、夕日に映える筑波山の景色を地形図に求めるのは到底無理である。それは画家の絵か写真を待つ以外にないのである。

このような要求に応じた役割というのは実際の仕事にも通じるところがあるのではないだろうか。私も自分の役割を自覚して仕事に取り組みたいと思う。



### 通 勤

人口労働担当主事  
荻 津 美 智 子

私は、自転車とバスと国鉄を利用して通勤しています。朝、家を6時50分前後に出て、課に8時20分頃着くという遠距離通勤です。バスは1時間に1本あればよい方という程度なので、もし乗り遅れると、水戸に着くのは1時間や2時間はさらに遅れてしまいます。ですから、「私は低血圧だから」を口ぐせに寝坊だった私も、そんなことは言えなくなりました。また、国鉄は水郡線を利用しているのですが、これがまた、定刻に着いたことがありません。単線なので、下りが何分遅れたとかいう類のアナウンスは恒例となっています。以前、私は太田線を利用したことがあるのですが、その時は上菅谷で15分待たされました。しかし、これはいつものことなのです。また、私が住んでいる所は、6時の汽車に乗らないと、7時の最終バスに乗れないという不便な所です。ですから、がんばって、冬がくる前に、自動車免許をとりたいと考えています。



### 統計の役割

商工担当係長  
須 藤 繁 太

統計は、もともと国家が租税の徴収や徴兵の基礎資料として、人口や農産物の生産高に関する統計を作成したことには始まるといわれている。つまり、統計は、国の行政的な要求に発し、それと密接に結び付いて発展してきたものである。

我々の日常生活に、統計は広く、そして深く浸透している。朝起きてから夜寝るまで、直接的にしろ間接的にしろ、また、意識的にしろ無意識的にしろ、我々は何等かの意味で統計を利用し、統計の影響を受けている。この統計は、あらゆる集団について、その集団の組織ないし活動状況を総合的かつ構造的、時系列的にとらえ、さらに、これについての分析や他統計との時間的、空間的比較を可能にしているものである。

したがって、統計は、現状認識機能、計画立案機能、事後評価機能等、合理的、効率的活動を行うあらゆる個人や事業体に不可欠とされる諸機能を十分に働かせる上で、それぞれの機能にとって欠かすことのできない重要な役割を果たしている。しかも、その役割は、ますます重みを加えつつあるのであるが、統計が目に見える諸活動の根拠として、目に見えない所で大きな役割を果たしているため、統計の重要性が、時として看過されることもなっている。

しかし、統計なくして我々の経済、社会生活等の成り立たないことは、厳然とした事実であり、この統計の舞台裏における重大な役割を認識し、地道に熱意をもって努力していかなければならないと考えている。



### この一瞬を大切に

商工担当主事  
坂 本 実

季節の変化というものは、一種の薬のようなもので、環境の変化が心身を活性化させる効力をもつ。この点、通勤も似たようなところがあるが、こちらの方はいつも気分爽快というわけにもいきまい。また、季節も巡り過ぎると年をとるので、気の向かない方もいるかと思う。

たしかに歳月の過ぎるのは早いもので、統計課にきて早や一カ月近くが立とうとしている。こちらにくる前はといえば、歴史館で庶務と教育普及の仕事を担当していた。教育普及といっても抽象的だが、館の広報とパンフレットの企画・編集、博物館協会他各種の行事の運営などである。

ところで、歴史館といえば博物館を連想するが、文書館が

## 〈喫煙室〉

併設され、数多くの歴史書や行政資料が保存かつ閲覧に供されていることは、意外と知られていない。ぜひ、活用していただきたいと思う。

「林間に酒を煖めて紅葉を焼く」とは白楽天の詩の一節だが、林間と紅葉はあっても元来酒は苦手な質なので、この風流の美を解するまでには至っていない。ただ俗塵の中を走るので、会議は踊るが進まないのと同じことである。しかし、この時はもう再来しないのだし、清酒を飲みつつ出会いを大切にしたいという気持は、いつまでも変わらない。



### 統計課に勤務して

商工担当主事  
先崎 浩

県職員となって4年が過ぎ、この度の異動で統計課に勤務することになりました。

私にとっては、初めての異動なのですが幸いにも顔見知りの方が何人かいらしてその点では心強く思っています。

私は、これといった特技はありませんが、上げてあげるとすればスポーツが好きということぐらいです。

これからは、テニス、野球、そして冬にはスキーといったぐあいに1年中からだを動かしています。

とりえといえるものはありませんが、若さでがんばっていきたいと思います。

最後に、名前ですが、統計課には似たような読み方をされる方が何人かいらっしゃるのですが、この場をおかりしますが、私は正しくは、「まっさき」と読みますので、以後よろしく願います。

何かとご迷惑をおかけすると思いますが、がんばりますので、よろしく願います。



### 健康について思うこと

農林経済担当係長  
根本 ハル

今回の定期異動で統計課勤務となりました。統計業務についてははじめての経験で、これから皆様のご指導をうけながら、いろいろと勉強してやってまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ところで、仕事をやっていくうえで、やはり健康には、十分気をつけねばならないと思います。だんだん年をとると、足から弱っていくといわれています。だから毎日の生活の中で、なわとびとかジョギングなど自分に合った適度の運動をしていれば、体力の維持に役立つのではないかと思っています。また一日の疲労をとり除くためには、睡眠が必要です。人間は睡眠なしでは生きていけません。「健全

な精神は睡眠から生まれる」ともいわれています。体の疲れは、ただヨコになっているだけでもある程度いやされます。しかし脳の疲れは睡眠以外ではとれません。睡眠不足になると脳の働きがにぶり、イライラしはじめます。人はふつう一晩にコップ一杯の汗をかくといわれています。体が冷えると呼吸数が増え疲労も増えます。睡眠中に体を温かく保つのは、こんな生理的理由からで、特に睡眠環境に気をくばり、毎日健康で明るい日々を過ごしたいと願っています。



### 茨城県に戻って

農林経済担当主事  
浅川 賢司

前の勤務先が北海道事務所だったため、今年の3月まで約3年間を北海道で生活してきました。北海道の冬は長く、11月下旬から4月下旬までの半年を雪と供に生活しなければなりません。特に1月から3月にかけては雪の降る日が多く、各家庭では雪かきが日課となり、道路の両側にはうずたかい雪の山ができます。消費生活の面においては、冬の野菜や果実はほとんど道外から移入しなければならないので値段が高く、燃料費についても普通家庭でドラムカン10本分かかると思いました。

4月7日に茨城県に着いてみると、ちょうど梅の花が満開で、まるで別世界へ来た思いがしました。職場からながめる梅林の花に、茨城県民の歌の「ゆたかなみのり 海の幸 梅のはまれにかおるくに」という文句を実感するとともに、茨城県はなんと恵まれた環境にあるのだろうと3年間の県外生活をとおして初めて痛感しました。

最後に、統計課は50人を超える大所帯で仕事の内容も細かい作業が多く、たいへんですが一日もはやく先輩の皆さんのご迷惑にならないように頑張りたいと思います。



